

おすすめ
行政課

- ✓ 文化振興
- ✓ スポーツ
- ✓ 生涯学習



若者文化とスポーツが融合する 川崎発の共創拠点



Colors, Future!
いろいろって、未来。

川崎市

川崎市と連携し 日常の施設 となる文化施設を 指定管理運営

若者文化との融合 により、若者文化の発信と交流を促進

都市型共創施設の先進モデル



ダンス



スケートボード



eスポーツ



アート



バスケットボール

特徴

「日常の施設」の1つとなる若者文化拠点（公共施設）を
Bクラブが運営するという公民連携の好例

スポーツクラブによる 文化施設の運営

体育・スポーツ施設で
はなく「日常の施設」と
なる文化施設を、川
崎プレイサンダースが
主体運営。
若者文化の発信を川
崎市と連携して推進

若者の多様な表現 活動への開放

ダンス、eスポーツ、ス
トリートカルチャー、アート
など、プロバスケッ
トチームの特徴で
もある、「若者文化とス
ポーツ」の融合を街中
に実現

都市再生と地域ブラ ンディングの両立

駅前の立地に新たな
滞留を生むことで回遊
性とにぎわいを創出
し、川崎市の若者文
化都市としてのブランド
強化に寄与している可
能性が高い



カワサキ文化会館（川崎市若者文化創造発信拠点）
川崎プレイサンダース

#居場所 #若者文化 #文化活動 #コミュニティ・交流拠点
Keyword !

© B.LEAGUE



ビジョンの 仮説構築

川崎市のまちづくり計画に基づき「日常の施設」をクラブが運営
都市部で不足する若者の居場所や創造の場を、官民役割分担

- ・ 若者が気軽に集まり利用できるコンテンツや施設運営のノウハウ不足
- ・ 民間の企画力を生かした公共性のある施設運営への期待
- ・ 若者文化とバスケットボールのストリートカルチャーの親和性



ビジョンの 構築・共有

若者が表現・体験・交流できる都市型文化拠点を核に、
スポーツと文化が共存する川崎モデルを目指す

- ・ スポーツやアート、音楽など多様な文化が交わる空間づくり
- ・ 地域に開かれた新たな交流拠点としての位置付け
- ・ 川崎市のブランド力向上と若年層定着の促進



PoC

多様なストリート・若者文化の融合により、多様なプログラムを提供

- ・ 既存ビルのフロアを改修し壁画アートなど多目的空間を整備
- ・ ダンス・スクボ・eスポーツなどを試験的に導入（クラブ＋地域団体）
- ・ バスケットボールイベント時には、選手も参加（川崎プレイサンダース）



事業開発

日常的な文化施設を“Bクラブ”が指定管理者として運営

- ・ プログラム内容の定着と曜日別運営企画の実施（川崎プレイサンダース）
- ・ 施設内の各ゾーンで複数ジャンルの活動が同時展開可能に（整備）
- ・ 多様な民間事業者ネットワークを活用し、バリエーション富んだイベントを企画（民間連携）



事業育成

期間限定から日常的へ。新たな若者文化創造発信拠点

- ・ 川崎駅西口再開発事業に伴い施設移転。令和7年9月頃を目標に新施設へ
- ・ 川崎市とも新たに協定を締結し、「川崎新アリーナプロジェクト」における
新アリーナを含む複合エンターテインメント施設の建設計画とも連携しまちづくりへ

実施スキーム



施設概要

- 住所：神奈川県川崎市川崎区駅前本町 21-12 川崎第3京急ビル
- 営業時間：14:00～20:00（平日） 10:00～19:00（土日）
- マルチパーパスコト利用方法：予約不要・無料



Shape the future
with confidence
EY
EYは、世界中の企業とパートナーシップを築き、持続可能な未来を創出するための支援を提供しています。

文化施設の整備・運営という従来行政単独で担われがちな事業領域において、 戦略・制度・空間・運営の各段階で官民が役割分担と価値共創を実現



川崎市民文化局市民スポーツ室
若者文化推進担当
係長 安斎 英介 様、塩田 侑輝 様
※所属は2025年取材時点

- ♪ Bクラブが若者文化を融合し施設運営を牽引
- ♪ 競技の垣根を越えた新たな文化・交流が創出
- ♪ 「やってみたい」が叶う場として子どもが主役に

公民連携のポイント

人材連携

法制度・許認可

財源

土地の所有・管理

施設の所有・管理

運営方針

市民との合意形成

リスク管理

広報・PR

世界一が集う日本一の若者文化施設

普段は、ダブルタッチという2本のロープを使った競技でプロバフォーマーとして活動しているなかで、川崎市と川崎プレイサンダースさんで施設運営を開始するときにお声掛けいただき、施設内でのスクール運営やイベント開催などを、一緒にさせていただくようになりました。川崎市が若者文化を発信するまちということもあり、様々なストリートスポーツに触れることができませんが、その中でもカワサキ文化会館は複数競技の世界チャンピオンが利用する聖地になっています。

若者の「自分らしさ、やってみたい」が叶う場所

バスケットボールをしていた子どもたちが、ふらっとダブルタッチを体験したり、その逆も日常的に発生しています。ストリートスポーツは遊ぶ場所が限定される機会が多く、近年では暑さで屋外で遊ぶことが難しい環境です。そんな中で子どもたちが主役に「やってみたい、遊んでみたい」が叶う場所づくりが出来ていることは嬉しいです。新しい施設では、地域の公園のようになり開かれた施設になんて伺っている中で、ストリートスポーツが生活の一部となり文化として根付くような地域貢献をしていきたいです。

B.CLUBとの連携の秘訣

打ち合せなどでは、ストリートカルチャーの発展と子どもたちの未来を念頭に置いて様々な提案をさせていただくのですが、いつも親身になって聞いてくださり仲間として受け入れてくださっています。想いを熱量を大切に、全て伝えながらイベント企画作りに臨んでいます！



B.CLUBが発揮するチカラ

ヒトを動かすチカラ

開業2年弱で5万人以上が利用。多様なコンテンツ提供で、若者を中心に集める。

行政と共に突破するチカラ

市の基本計画に基づく指定管理業務。遊休施設を再生し、若者文化を醸成する

実現までの課題・失敗談

1.公共性と事業性の調整

一般開放や自由参加型など公共事業が併せ持つ性質と、民間企業の事業性の調整に対話を重ねた

2.スタッフオペレーション

施設内のカフェで飲食を提供しているが、一度に大人数の利用があるとオペレーションが煩雑に

3.再開発までの暫定利用

駅周辺の再開発までの暫定利用であり、2025年9月に移転が決まっている



現時点での成果

1.驚異の施設利用者数

開業から約2年半弱で延べ5万人以上。毎月約2,500人が利用。地域に新たな活力と交流を生み、若者に愛される施設となった

2.期間限定から後継施設移転へ

再開発までの暫定利用の予定が、市民から的好评により、代替地を確保のうえ、後継移設が決定

3.川崎新！アリーナシティ・プロジェクト

DeNAと京急電鉄が推進する新アリーナを含む複合エンターテインメント施設とも連携。一帯的なまちづくり事業の推進が実現へ

